

令和6年度 学校だより

あくのうら 10月

ホームページアドレス www.nagasaki-city.ed.jp/akunoura-e/

令和6年10月1日

長崎市立飽浦小学校

発行 校長 松尾伸章

日本は季節の変化が激しいと言われます。確かにその通りですが、その変化は、直線的ではなく、曲線的です。季節の移ろいはなだらかな形をとり、行きつ戻りつつしながら深まっていきます。

10月です。朝晩は、ようやく秋らしさを感じるようになってきました。初秋から夜寒の候へ、秋雨から紅葉へと、しだいに秋が深まっていくこの季節は、移ろいが纖細で、もの寂しさがありながら、やさしく穏やかだと感じます。

「充実の秋」となるよう、全児童、全職員で駆け抜けたいと思います。

【宿泊学習】

「一致団結」～最高の宿泊学習に～のテーマをかけ、めあてを「①けんかをせず、仲良く ②話を静かに聞く ③周りの人の良さを見つける」として、9月25日（水）から27日（金）の2泊3日で、5年生が日吉自然の家へ宿泊学習に行ってきました。

1日目は、午後からすり身作り体験、夜はナイトウォークの活動をしました。2日目は、朝から火おこし体験、そしてカレー作り。午後からはスコアオリエンテーリング。夜には、イニシアティブゲームをして楽しみました。3日目は、朝からペタンク・シャッフルボードをして、午後は、長崎市恐竜博物館へ行って、大きな恐竜たちに興奮しました。様々な活動を通して、様々な人たちとの関わりを通して、学校ではできないたくさんの学びをすることことができた3日間でした。



日頃から仲の良い飽浦小の5年生ですが、この3日間も男女関係なく仲良く協力して、たんへん良い学びとなる活動ができました。飽浦小の子供たちは11人と少人数ですが、一緒に入所していた大園小学校や西城山小学校の子供たちがいる大勢の前でも、堂々と発表したり、仲良くしたりできる、たいへん誇らしい子供たちでした。

学校を出発するときは、ただワクワクでいっぱいの子供たちでしたが、3日目の退所式のときには、きりっとした目の子供たちの姿がありました。友情を深め、協力することの大切さを学び、周りの人の良さに気付き、自然のすばらしさを知り、先を見通す力を高めました。

3日間、えがおいっぱいに活動し、たくさんのこと学び、大きく成長して帰ってくることができました。

【10月の行事予定】

1日(火)	安全の日 水泳学習(高学年)	視力検査(2・3年)
2日(水)	視力検査(5・6年)	全校集会
3日(木)	チャレンジタイム(国語検定)	委員会活動 目の健康チェック(~11日 高学年)
4日(金)	水泳学習(低学年)	
7日(月)	朝日小とのオンライン交流(6年)	励ます会応援練習(1~5年) 太鼓指導(6年)
8日(火)	水泳学習(高学年)	スクールカウンセラー来校日
9日(水)	ピースディ	小体会選手を励ます会
10日(木)	チャレンジタイム(運動)	
11日(金)	水泳学習(高学年)	
14日(月)	<スポーツの日>	
15日(火)	水泳学習(低学年)	太鼓指導(6年)
16日(水)	心の時間	長崎市小学校体育大会(6年)※全校弁当の日 視力検査(4年)
17日(木)	チャレンジタイム(算数検定)	集団下校
18日(金)	※6年朝日小との小体会交流会(小体会中止の場合のみ)	
20日(日)	※家庭の日	
22日(火)	租税教室(6年)	
23日(水)	読書集会	
24日(木)	6年修学旅行(熊本)	チャレンジタイム(運動) 給食試食会(5年)
25日(金)	6年修学旅行(熊本)	給食試食会(1年)
29日(火)	特別支援学級交歓会	平和紙芝居(5年)
30日(水)	全校集会	
31日(木)	チャレンジタイム(国語検定)	代表委員会・ボランティア活動

【わくわく体験教室】

9月14日(土)、9時~12時、育友会主催のわくわく体験教室が開催されました。子供たちは、3階の各教室、ワークスペース、多目的室で、①ネイルアート ②防災体験 ③折り紙体験 ④金融体験 ⑤介護体験 ⑥ダンボール迷路 の体験をそれぞれ行い、すべての体験が終わったら、最後に⑦くじ引きで素敵な景品をもらうことができ、とても嬉しそうでした。

北島育友会会長を筆頭にして、今年度から育友会の組織改革や活動内容の改善を図ってくださっています。飽浦小学校は、複式学級ができるほどの小規模校となり、以前からの育友会活動をそのまま引き継いでいくには、大きな課題があります。また、コロナ禍でできなかったことをそのまま無くしてしまうのではなく、より良いものに変えて実施していくことも大切です。このわくわく体験教室も、小規模校の良さを生かして、以前はそれぞれ行っていた学級活動を、1つにして、学校全体の取組に変えた(改善した)ものです。市内最先端の、本校にふさわしい、たいへんすばらしいイベントでした。

子供たちのことを想い、飽浦小学校のことを想い、このように前向きに取り組んでくださっている本校の育友会の皆様に感謝しています。

『校長室の窓から』

以前、新聞に「桃太郎はなぜこの3匹を仲間にしたのか。」という記事がありました。JTの広告です。一見バラバラに見える三者をなぜ仲間にしたのか。そこには明確な戦略があったのでは、との見解です。チームに多様性を取り入れ、ある種の化学反応を期待していたのではと。

合うはずのない三者が、心を開き、認め合うことで、個性がより發揮できているというのです。確かに、鬼退治の三者は、それぞれが個性を十二分に発揮し合っています。発揮するのではなく、発揮し合うことでより大きな力となって機能しています。

学校も、多様な子供、先生がいます。同じ目的に向かうとき、同じ行動を求めるのではなく、それぞれが違いを認め、もっている力を発揮し合える環境をつくっていくことが大切です。

広告の最後には、「違うから人は人を想う」とありました。今の時代に大切にしたい言葉です。